

# 99th TV TIMES

すずかんだいむす

## Suzukan Times Topics

2009.11

VOL. 10



### 政権交代特集

2009年9月16日、新政権発足..... 2~3

- 和を以て成し遂げた政権交代
- 文部科学副大臣拝命
- 10月2日が補正予算の締め切り
- 10月26日に国会始まる。新政権発足でめまぐるしい日々。

政権交代までの一年を振り返って—政策、国会、選挙(政策調査会の副会長としてマニフェスト作り、予算委員会をはじめとする国会論戦、東京都連幹事長として選挙対策に奔走)..... 3~5

- 福田首相の突然の辞任
- 東奔西走した東京都議選
- 功を奏した遊説戦略
- 東京ライフを使った戦略
- いよいよ、総選挙へ

### 文教科学政策

- |    |              |      |
|----|--------------|------|
| 第1 | 初等・中等教育..... | 6~9  |
| 第2 | 高等教育.....    | 9~10 |
| 第3 | 科学技術.....    | 10   |
| 第4 | 医療.....      | 11   |
| 第5 | スポーツ.....    | 11   |

国会発言一覧..... 14

講演記録..... 15

メディア情報..... 16

### ごあいさつ

今般 鳩山内閣の発足に伴い、私は、文部科学副大臣を拝命いたしました。

私は政治家になる以前から、教育に関する諸問題について取り組んでまいりました。

今までの教育に対して取り組んできた情熱を傾けられるお役目を頂けた重責を力に変え、鳩山内閣を支える一人として全身全霊をかけて邁進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

# 政権交代特集

## 2009年9月16日 新政権発足！

### 和を以て成し遂げた政権交代

ついに政権交代が実現し、新しい日本の歴史が創られました。2009年8月30日に行われた第45回衆議院議員総選挙の結果、民主党が308議席を獲得し、単独で絶対安定多数を確保しました。自由民主党は1955年の結党以来54年間君臨した衆議院第一党の座を降りました。

9月16日には第171国会が召集され、衆参両院の本会議で内閣総理大臣指名選挙が実施されました。そして、鳩山由紀夫先生が第93代内閣総理大臣に指名され、鳩山内閣が発足しました。

歴史的偉業をなした鳩山総理から、人を大切にしながらの大事さを改めて勉強させて頂きました。歴史をつくるには「天」「地」「人」が全部揃わねばならないと言われますが、「人の和」を大事にすることが、「天の時」をも引く張り込むのだな、と思いました。

### 文科科学副大臣拝命

私は新政権において文科科学副大臣を拝命

いたし、9月18日皇居にて天皇陛下から「官記」（任命状）を賜りました。それから怒涛の毎日が始まりました。閣議で補正予算編み直し作業が始まりました。わが文科科学省は政務三役（閣僚、副大臣、政務官）会議をまず開き、連休中にその政務三役で、最も早く補正予算の見直しのヒアリングに着手し始めました。今までの自民政権では、派閥に基づく順送り、副大臣、政務官を決めていたのですが、民主党新政権においては大臣が自分のチームの人間を任命する形となつていきます。我ら川端チームは、チームワークよく仕事をすることを期して、毎日、副大臣、大臣、政務官2人、5人のみを行い、様々なことをきちんと決めて、事務方に指示しています。

最初の政務三役会議では、補正予算だけでなく、マニフェスト、その他検討事項、補正予算の見直しの考え方、についての指示書を提出しました。我々が、事務局からの伺いの前に次々と指示書を作り、彼らに文書で交付するようにしたのです。これにより、スムーズなスタートになったと思います。

話題となったアニメの殿堂については、初日には、「今までやってきたことなので、継続したい」と事務方から話がありました。我々民主党は「ハードからソフト・ヒューマンへ」というはつきりとした方針があり、箱物を作らない、というところで断らせてもらいました。また、私は「役人の優秀な能力を今までのことを正當化するために使うのではなく、我々の指示をきちんと実行するために使った下さい」とお願いしました。このように最初の指示を明確にしたので、二日以内に文化庁長官が出てきて、きちんとその宿題に答えてくれました。初日の確認も、その断固たる姿勢が、その後の我々政務三役と事務方の役割分担と仕事のやり方を決めたと思えます。以後、方向、具体的検討項目を我々が示す、その後、対して役人が具体的提案を出す、という形で今までできています。何事も最初が肝心な分野に關しては、前政権以上に積

極的に取り組む予定で、世界に通用するメディア芸術祭の開催を計画していきます。

### 10月2日が補正予算の締切り

私はコペンハーゲンへオリンピック開催都市決定選挙に行く事になっており、9月28日までには補正予算をまとめねばなりません。ちなみに鳩山総理は、G20ピッツバーグサミットへ行つた翌週にコペンハーゲンに行かばなりません。鳩山総理は、5月の代表選以降、埼玉、千葉、静岡、東京の地方選、総選挙と出づっぱりであるにも関わらず、驚嘆する体力と気力をもって、周りの人を微塵も悪い気になさせない気遣いも持たれ、心から凄い方だなと感服しました。

私はコペンハーゲンから帰つてきたのち、概算要求の見直しをおこない、10月15日に提出しました。10月30日には税制改正要望の見直しを提出しました。

### 10月26日に国会始まる。新政権発足でめまぐるしい日々

特筆すべきこととして、123年続いた事務次官会議を廃止し、政治主導で閣議を仕切ることとなりました。

また、文科省独自でも文書の決裁のあり方を抜本的に改善しました。実は今まで、大臣名義の文書の決裁を最終的にするのは、ほとんどが事務次官、局長だったのです。なんと大臣は、自分の名義で出されてる文書、行政決定、行政処分を、新聞で初めて見るような有様でした。私は、省庁に勤めていた昔から、「これはおかしい」と疑問に思っていました。会社に例えると、重要な文書を、株主から選ばれた役員（政務三役）が誰も知らず、部長や社長室長だけで決裁していた、というところなんです。しかし、物理的に無理です。そこで、今まで事務次官が物理的に無理なものは、副大臣、局長

長がやっていったものは、政務官が決裁する形にそれぞれ変更しました。これによって政治家が、各省が一体何をやってるのか、全体像を把握することに初めて成功したわけですね。従って今は、毎日相当数の決裁をしています。9月18日から30日までの決裁文書については、全部私が見ました。10月1日づけの人事・決定案件など200近い決裁文書をコペンハーゲンに発つ直前に片づけました。「今まででも重要なことは大臣等にあがっていった」と言っても重要なことは大臣等にあがって大臣等にあがるか否かの判断は結局役人がしており、政治家に見せたくないものは隠す事ができまされた。このように経緯で隠されてきたものが、のちに問題となつたケースもあります。

今後、文科省においては、隠蔽は確実に相当数減少させることができず。この取り組みについて私は、10月8日に副大臣会議で紹介しましたが、追隨する省庁は今のところありません。

「政治指導」というのは決して役人を外す、というのではなく、政策の立案、調整を、国民から選ばれた政治家が責任を持ってやる、という事です。明確な指示のもとで、役人の人脈、優秀な能力を最大限発揮させるのは当然な事です。政治家と役人とは役割が異なります。両者がベストなコラボレーションをする事が大事なのです。文部科学省では今、連日、各局の人たちが、文部科学省では今に入ってきた、政策議論をいきいきと副大臣室に入るすべての情報や知恵を我々に提供する姿を見る事が出来ています。これは、政治主導が概ねうまく出来ている証ではないかと自負しています。

そして、所管事項説明については、課長補佐以下の人から聞いています。文科省の若手は問題点をよく認識し、説明能力にも長け、管理職に全くひけをとらない明快な説明をしてくれ、教育制度が抜本的に変わるタイミングであり、これが60年持つ教育制度の改革に、自身もこれをありがたく思っています。私も、役員

人のみなさんも幸せだと思おう」と言いながら、私は役人のみなさんに中長期的観点から、宿題をいろいろ出していきます。それから特に、大きな抜本制度改革は、課長補佐、係長などに担ってほしいと思つていいます。なぜなら、10年20年30年たつと、「この制度はどうしてこうなつていくか」と必ず問われてきます。その時に、そういう世代がきちんとして、その時に、その背景、意図などを次の世代に伝えることができるのです。それによって制度自体を時代に応じて適切に進化させることができ、これを受けて、若手があり、本能的に頼もしく嬉しい限りです。



鳩山内閣発足、文科副大臣に

政権交代までの一年を  
振り返って―政策、国会、  
選挙（政策調査会の副会  
長としてマニフェスト作  
り、予算委員会をはじめ  
とする国会論戦、東京都  
連幹事長として選挙対策  
に奔走）

福田首相の突然の辞任

2008年9月1日、福田首相が突然、辞任を表明しました。その後、9月24日には麻生太郎氏が総理大臣に選出されました。そのわずか数日後の28日、不適切発言の責任をとって中山成彬国交相が引責辞任しました。また、麻生政権は大混乱の中で発足しました。当初、2008年9月30日、国会会期中に衆議院の解散・総選挙が行われるのではなかった。麻生政権の解散・総選挙が、9月30日、私には、政策調査会の予選をやらせておりました。9月30日、私には、政策調査会の予選をやらせておりました。9月30日、委員会の答弁に立ち、後期高齢者医療制度の厚生労働省の指名されました。12月には東京都連幹事長、生首相が「景気対策」を言い、12月25日に解散を先延ばしにしようとした。12月25日に解散を先延ばしにしようとした。12月25日に解散を先延ばしにしようとした。





という全国最悪の搬送時間の短縮等)の3つを東京マニフェスト2009のメインと都政を繋ぐ斬新な試みがテレビでも大いに取り上げられ、最終的に、東京ライブは220万ペー

いよいよ、総選挙へ

まいよいよ、7月21日に衆議院が解散となり、前哨戦となる衆議院議員選挙は、そう簡単にはなかった。しかし、衆議院議員選挙は、

私は総選挙には3つの立場で関わりました。東京都連幹事長、政策調査会の副会長、広報戦略チームの3つです。

政策調査会としてなしたのは、民主ペディアの作成、パブリコへの出演です。また、それらの動画を積極的にユーチューブ等に投稿しました。

東京ライフ

http://www.tokyo-life.jp/

カテゴリー別でのあらゆる生活情報、及び関連政策やその背景を知る事が出来る。

市民による熟議の場をインターネット上に提供する事で、単なる選挙用のパフォーマンスではない、生活に根ざした「市民のための政策」を生み出す事を目指している。

第4回 マニフェスト大賞ベストホームページ 賞受賞

東京ライフ 決着の夏 民主党の政策政策Manifesto2009 変わるのは、あなたの生活です。 民主党の5つの約束



## 第1 初等・中等教育

私は、3段階に分けて初等・中等教育を充実させることを考えています。第1段階は就学費用の軽減、第2段階は学校の教育力の向上、第3段階は学校ガバナンスの改革です。

### 1 修学費用の軽減

まずは、学費など、就学費用を軽減せねばなりません。民主党は、小泉政権以降の行き過ぎた競争至上主義による格差拡大・親の所得格差が、子どもへの学力格差・学ぶ機会への格差につながり、という負の連鎖を断ち切ることに取り組まします。生まれながら社会にできるまで、どんな地域・家庭に生まれ育った人に対しても、学ぶ機会を保障することが最も重要で、そのための15歳までの子ども手当、および高校無償化等の実現を目指します。

公立高校については、授業料を実質無償化します。350万円以下の世帯については、加えて、入学金及び教科書代を助成します。私立高校では年収500万円以上の世帯には年額12万円、350万以下500万以上の世帯には24万円以下の修学支援金をそれぞれ支給し、50万円以下の世帯にはこれに加えて、都道府県が地域事情に応じて、平均11万円が支給されるように概算要求しました。なお、詳細な制度設計は各都道府県に委ねます。そのため地方交付税の交付措置は講じます。24万円

ラ511万円の計35万円という数字は、全国平均の私立授業料に相当するものです（東京は39万です）。また、都から5万円の補助があり、すも負担を軽減します。この政策には二つの目的があります。①国際人権規約13条b（マダガスカルと日本のみが批准留保）に規定されている中等教育無償化の趣旨をふまえ、先進国では当然になっていく高校の無償化により、全員の学習権という基本的な権利の保障を実現するということと、②低所得者への厚い支援により格差は正、公私格差は正をなすことです。

### 2 学校教育能力の向上

2年後の通常国会にむけて、学校教育力の向上を図る法案を検討します。ポイントは3つ、(1)教員の質の向上、(2)教員数の充実、(3)教材改革です。

秋田県の小・中学校は、全国学力・学習状況調査において3回連続でナンバワンでした。この要因を分析すると、採用試験の倍率が20倍の難関で、模擬授業や面接など総合的能力を見る選考がなされていること等が挙げられます。また、生徒一人あたりの教員数がフィンランドなみにあって重要なことも挙げられます。教員の質と数がいかに重要かよく分かります。

#### (1) 教員の質の向上

教員の質の向上に関連しては、一般教員免許取得者に対することとし、教員と許す修士取得者に付与すること、専門免許状の取得を標準とするのを考えています。①学校経営、②教科指導、③生活進路指導の3つのコースを想定しています。③生活進路指導のコースのチャンスをつくらせて、それに匹敵する

を、半年から1年間、学校を離れて学びなおしてもらおうようにするのです。最新の教育受講者には、実践力の向上と、最新の教育学の成果を取得することを求めるとともに、取得後、学校現場に戻ったのちには、自らの担当分野におけるリーダーになることを求めていきます。たとえば、教科指導なら、その教科の向上に責任を持ってもらうのです。この専門免許状制度は、教員免許更新を発展・進歩させるものです。

・一般免許付与は修士取得者へ

一般教員免許を学士から修士取得者付与に変更することは十分承知しています。様々な意見があることを十分承知して、来年1年間をかけて意見聴取してきます。しかし、私の現状認識としては、現在の若い教員の教育実践力、コミュニケーション能力は総じて改善の必要があり、そういった能力を向上のための教育実践の大幅拡充が必要となれば、修士ということにならないを得ないと、思います。

現在の教育実習は、量と質において改善の余地があります。量については、最近の学生は、少子化の影響で子どもと接する時間が少なく、少子化の影響で子どもの時間をとらねばなりません。たとえば、島根大学は子どもと接する時間を1000時間としていますが、こうした例を参考にしなければなりません。フィンランドなどでも実習時間は十分確保されています。

①発達障害、②特別支援教育、③いじめ、④モンスターパーレンツ、⑤児童虐待といった、子どもまたはその家庭への学校関係者の取り組みを教員養成の段階で経験をしておくことは今後不可欠です。

特に大学の教育学部に来る学生の多くは恵まれた家庭で育った人が多く、そういった問題が少ない傾向があります。そうした問題の難しさと、それをプロの見識・技能・経

験・チームワークでもって乗り越えていくこととの素晴らしさに接して教育の醍醐味を分かっただけで、真に教師の道を選択することが重要なのです。こういったことを知らないまま、教師になつてトラブル事例に遭遇すると、教員の不登校等メンタルヘルスの問題に直結してしまうおそれがあります。トラブル事例を学生時代に見せると教師の希望者が減る、という人もいます。しかし、プロの仕事はどの世界も大変で、それを乗り越えていくことにプロのプロたる所以があります。教育の難しさを知った上でなお教師を志す人にこそ将来の日本の教育を託すべきなのです。

現在毎年教員免許交付数は小中高で年間10万である一方採用は年間2.5万人です。教育実習を受け入れる学校は、数週間のこととはいえ手間がかかる一方では、実習をした学生の2割しか実際の教員になりません。これは現場のモチベーションは上がりません。また学生も、来年、再来年には自分もあの教壇に立つのだ、という気持ちで臨んでいる人は少ないという状況です。このように双方のモチベーションが低く、かつ時間短いと、いう状況を抜本的に変えねばなりません。

私は、毎年80人から100人の学生教育ボランティアに接しています。子どもと付き合うことに一生懸命な人ほど、現行の教職課程との両立が難しく、途中で断念せざるを得ないという例も多く遭遇しています。今の教職課程では、子どもが好きで、現場に接する学生は途中で脱落してしまい、毎日家と大学を往復しながら座学で淡々と授業を受けている学生が残る、という状態が見えます。

加えて、社会がきわめて多様化、複雑化する中、教師として学ぶべき知識・技能は増えています。特に中高の教師が、生徒に関して確信をもつて教育できないという問題があります。生徒たちがどういいう社会で働き、貢献していくのか、というイメージがないため、中高生をモチベートできていないのです。これを変えするためには、教師自身が、学生時代



大学生の教育ボランティア達と共に

に、いろいろな世界で生きていくのがどういふことか、を知らねばなりません。学校だけでなく、会社・病院・役所・介護・職人・研究などの様々な現場がどのような所か、そのどの様な職業がどのようなものか、ということをイメージできる体験が必要なのです。また、臨床心理的、メンタルング、といったさらにコアな技術、知識、経験も必要です。最低限の技術、知識、経験も必要です。

・批判への応答

① 一般教職免許の取得を修士取得者に引き上げることにしては、大きくいうと二つの批判があります。①卒業時の年齢及び学費負担がのびること、②優秀な人材が教員を志望しなくなるという批判と、②教員課程をもつ私立大学の学生確保が成り立たなくなるという批判です。

② ①については、法科大学院と同様、教職専門大学院専用の奨学金を新設し、希望者全員が奨学金の貸与を受けられるようにします。さらに、昔は、教員になると奨学金返済が免除されていたことに鑑み、返済免除・猶予に②については、もちろん私学経営も大事ですが、学習者の学ぶ権利を最重要視する観点から、将来の子どものための向上力向上させることに直結する教員の質の向上の方がより重要であると考えられています。加えて、仮に免許を付与しなくなるとしても、今後教育信じています。つまり、これからの社会において、人間、所属集団の成長についてより深い理解を持ち、所属集団の成長の能力を最大化するということ、技能はますます重要になるのは、会社において、家庭教育も重要であることは、労働部門の経験者や経済・経営学部卒の財務部門の経験者が出世することが多かったためですが、今後は、教育学部で人間発達学を修めた人材が会社要職につくケースが増えていくに違いないと私は信じています。教育学はまさに人間学であり、これをさらに深化、充実させることを通じ、大学は学生の確保に、切磋琢磨するというのが本来の姿です。現に、法学部を卒業して法曹になるのはごく一部ですが、リーガルリテラシー、リーガルマインドが会社経営に大事であることから、これまで、法学部卒業生に対する求人も広くあります。そのため学生の法学部志向も維持され、学校のみならず、多くの組織から求人があるはず。



現在設立が進んでいる教職専門職大学院では、教員の4割は教育実践の経験をもつ者とする、ことを目論んでいます。今の教育学部の教授陣を入れ替えるエネルギーと、これからできていく大学院をよりよいものにしていくのを考えると、後者のほうがやりやすいでしょう。

修士課程や専門免許制度においては当然、いずれも、教職専門職大学院が中心的な役割を担うことになりす。しかし現在の状態では、そうした役割を十分担うだけの体制は整っていないといえませんが、コミュニケーション能力や実践力を高めることのできるカリキュラムを開発し、これを全国のモデルとできるように教職専門職大学院の抜本拡充をサポートしていきます。

### (2) 教員数の充実について

日本の教員当たりの生徒数はOECD最低レベルです。そこで、来年度以降上昇させ、学校環境整備法などの考え方にも従います。それはOECD並みにしたいと考えています。そのためには教育予算の確保が必要ですが、道府県の裁量に委ねられているものを利用して一部しか教育に使われていないケースもあります。そこで我々は、義務教育一括交付金を創設する地域交付金など、一定程度用途を限定した上で地域の自主性を尊重した制度などを創設するとともに、学校環境整備法案などを作成して、ヒューマン・ソフト・ハードの面で、学校環境のあるべき姿を示し、それに基づいて各設置者が整備計画をたて、それの予算を確保する、というかたちにしていくことを考えています。

今の問題は、義務標準法では教員の数のみを決め、なんら法的根拠のない省令等でハードの設置基準を決めるなど、バラバラなところにあります。我々はこれらを統合し、指針を示して予算確保をするつもりです。これをいきていく中で教員定数の改善にも取り組ん

### (3) 教材改革

教育のソフトとして最大のものは教科書です。日本の教科書は世界の中でも薄いとされています。量については、教科書をデジタル化する、印刷コストを減らすこと、また、質も高められたい。たとえば理科では天体の動きや心臓の動き、社会では近現代史の映像といった動画を入れることもできます。これは学習における理解と意欲の観点から望ましいものでも可能です。

現在、教科書予算(小・中学校)は年間40億、中学校だけで200億円ですが、このうちほとんどは印刷費に消えています。デジタル化によって印刷費の一部を減らすように、毎年数10億円をコンテツツ作りに使えば、1ティングにさせることになり、コストが下がります。従来のような10年が一度という学習指導要領や教科書の改訂では、時代遅れもあり、社会の価値観が根底から変わることもある中で、その劇的な変化に柔軟に対応できるようにすべきです。新学習指導要領に基づく教科書の導入の時期にあわせて、特に中学校の教科書のデジタル化から検討していただきたいと思っています。

そうになると、学校のICT(Information Technology)環境整備が、教師、生徒一人一人の情報端末の普及が必要で、その上で電子黒板の配備を、教材が必要で、指導方法が確立して、ハードを同時に必要です。デジタル教材の導入は、ICT環境の整備をうまうまく進めたいと思っています。

### 3 学校ガバナンスの改革

なお、学力テストについては40%の抽出調査にします。これによって、引き続き都道府県ごと4月に実施して、9月まで発表に時間がかかっています。また、現在は小6と中3の国語と算数、数学について行っています。来年は調査研究をし、再来年からは理科などの学科追加を考えています。

この段階における政策は、3年後の通常国会ぐらいで法案化を目指します。

・ コミュニティで子育てを

地域の子は地域で、コミュニティで育てる。ボランティアで学校開放日には、1/4がボランティアで提案してきます。この点では私が提案してきたコミュニティは、2004年の普及も重要で、今や50校がコミュニティの「教育振興基本計画」にも位置づけられており、教育振興基本計画にも位置づけられており、コミュニティの運動は、3段階の展開があると思っっています。①土曜学校(これは学校支援地域本部の設置、②コミュニティの支援や放課後ナシプロコラボレーションの支援があり、③は、④は、⑤は、⑥は、⑦は、⑧は、⑨は、⑩は、⑪は、⑫は、⑬は、⑭は、⑮は、⑯は、⑰は、⑱は、⑲は、⑳は、㉑は、㉒は、㉓は、㉔は、㉕は、㉖は、㉗は、㉘は、㉙は、㉚は、㉛は、㉜は、㉝は、㉞は、㉟は、㊱は、㊲は、㊳は、㊴は、㊵は、㊶は、㊷は、㊸は、㊹は、㊺は、㊻は、㊼は、㊽は、㊾は、㊿は、